

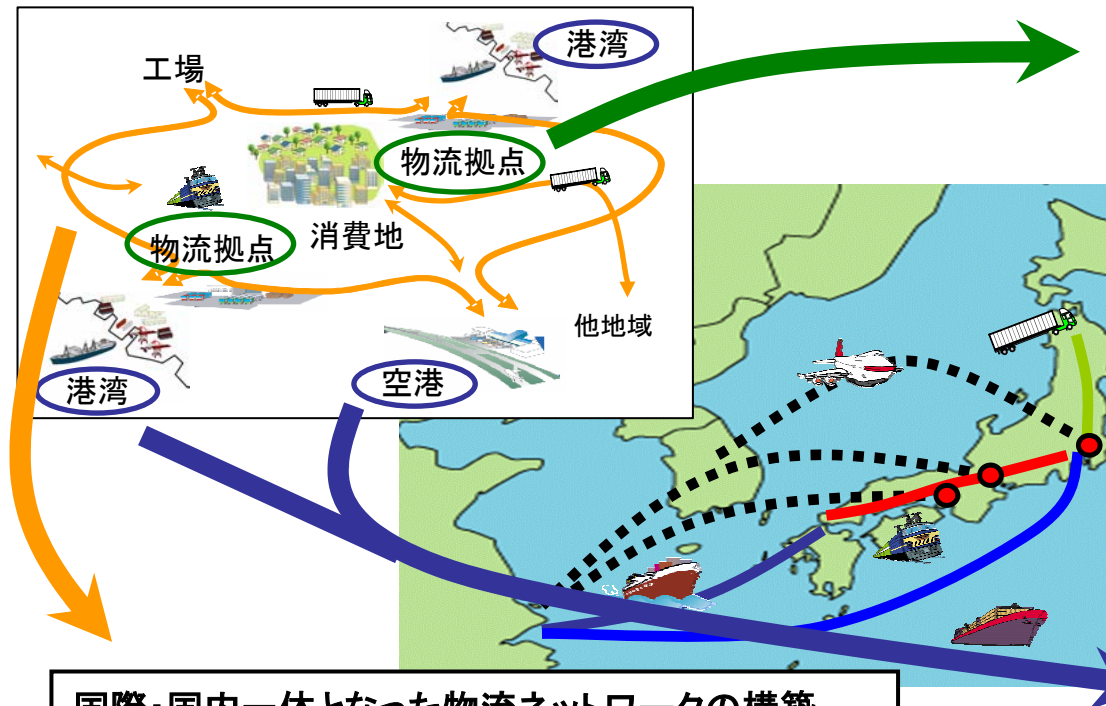
# 国際物流に関する取組みについて

平成18年8月21日

国土交通省

# 国際競争力強化のための国際物流戦略

- モノづくりと物流は車の両輪。産業競争力の向上を図るため、効率的な物流システムを構築。
- 特に、東アジアの相互依存関係が急速に進展しており、東アジアとの物流が「準国内物流化」。
- このため、スピーディで効率的な国際物流システムの構築が、最重要課題。



## 国際物流におけるロジスティクス機能の高度化

- 主要港湾、高速道路周辺等におけるロジスティクス・ハブでの高度なサービス(流通加工、在庫管理等)の提供



## 国際拠点港湾・空港の機能向上

- スーパー中枢港湾プロジェクトの推進
  - 港湾コストを約3割低減
  - リードタイムを1日程度まで短縮
- 大都市圏拠点空港の整備・活用
  - 羽田再拡張事業
  - 成田の平行滑走路の2,500m化
  - 関空二期事業の推進 など
- 輸出入・港湾手続のシングルウィンドウ化の実現
  - 府省共通ポータルを2008年10月に稼動し、申請窓口を一元化

## 国際・国内一体となった物流ネットワークの構築

- 国際物流基幹ネットワークの構築
  - 重要港湾と物流拠点を結ぶルート上の国際標準コンテナ車が通行できない区間の解消
  - 重要な空港・港湾へのアクセス性の向上
- 「国際物流戦略チーム」の活用
  - 地域の実情に応じた国際物流施策を検討、推進 (北海道、関東、中部、関西、北部九州等各地で立ち上げ)

# ASEAN域内における取組み

## 日ASEAN交通連携(物流分野を含む21のプロジェクト) <ASEAN-Japan Transport Partnership>

日ASEAN交通大臣会合:各国交通大臣のパートナーシップの構築、リーダーシップの発揮

●第1回 2003年10月25日  
於:ミャンマー

●第2回 2004年11月24日  
於:カンボジア

●第3回:2005年11月18日  
於:ラオス

### 「日ASEAN物流改善計画」の採択

日ASEAN域内の等質な物流環境の実現を目指し、域内の物流ボトルネックを解消するため、日本とASEAN諸国の専門家が日ASEAN地域内における物流改善の方針・主要施策をまとめたもの。

1. 物流に関する社会資本の充実
  - A)複数モード輸送の円滑化に資する社会資本の充実
  - B)都市物流の効率化に資する交通渋滞緩和施策の展開
  - C)ターミナルや物流倉庫の充実
2. 物流活動のための制度改善
  - A)効率的な物流サービスのための制度・ルール構築
  - B)物流分野における関係省庁間の政策協議の充実
  - C)制度、ルールに関する意見交換
3. 物流事業者による輸送活動の改善
  - A)域内ロジスティックサービスレベルの格差の均一
  - B)各国間の物流サービス業界の連携促進
  - C)自動化・情報化、標準化の促進

### 等質な域内物流環境の目指す方向

- ・経済統合の進展に対応した競争力の更なる強化
- ・環境問題、エネルギー問題等への対応の強化
- ・情報通信技術の飛躍的進展への対応
- ・市民生活の新たなニーズへの対応